

普通温州の肥大は平年並み、成熟は「大津4号」が平年並み、「青島温州」が平年並み～やや遅い傾向です。
完全着色した果実から減酸、食味を確認し、順次収穫しましょう！

1 令和6年11月の気象

令和6年11月の半旬別の気象を表1に示した。平均気温は第2、5半旬を除いて平年より高く推移した。月平均気温は15.0℃で、平年より1.3℃高く、前年並みであった。

降水量は第1、3、6半旬で平年より多く、他は平年より少なかった。月合計は140mmで平年の96%、前年の168%であり、乾燥傾向であった前年に比べ、平年並みの降水量であった。

日照時間は第5、6半旬を除いて平年より少なかった。月合計は139時間で平年の95%、前年の79%であった。

表1 令和6年11月の気象（アメダス館山測候所）

半旬	平均気温 (°C)			降水量 (mm)			日照時間 (hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	18.6	15.7	18.4	55	24	1	23	25	38
2	14.2	15.0	18.9	8	23	18	17	25	17
3	16.3	14.2	12.2	30	24	5	17	24	22
4	14.2	13.2	14.6	15	26	57	13	24	30
5	11.3	12.3	15.4	0	26	2	30	24	35
6	15.2	11.6	13.5	34	23	2	39	24	33
平均/計	15.0	13.7	15.5	140	146	84	139	146	176

注) 暖地園芸研究所の気象観測装置の不具合により、アメダス館山測候所データを引用

2 果実の生育

12月2日における調査園の果実生育状況を表2に示した。

3地区の平均を平年及び前年と比較すると、横径は「大津4号」が7.2cmで平年比96%、前年比97%であった。「青島温州」が7.5cmで平年比、前年比ともに101%であった。両品種とも平年並みであった。地区別では、三芳地区は両品種とも前年よりやや大きく、平年並みであった。千倉地区は両品種とも前年、平年並みであった。暖地園研では「大津4号」が前年よりやや小さく、「青島温州」は前年、平年並みであった。

縦径は「大津4号」が4.7cmで平年比94%、前年比100%であった。「青島温州」が5.0cmで、平年比100%、前年比106%であった。両品種共にほぼ平年並みであった。地区別では、三芳地区は両品種とも前年よりやや大きく、平年並みであった。千倉地区は平年よりやや小さく、前年並みであった。暖地園研は「大津4号」が平年並みで前年よりやや小さく、「青島温州」は前年、平年並みであった。

果形指数は3地区平均して「大津4号」、「青島温州」共に1.5で、両品種共に平年比100%、前年比94%と扁球～扁平傾向であった。

表2 果実の生育（令和6年12月2日）

品 種	調査地	横 径 (cm)			縦 径 (cm)			果形指数		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
大津4号	三芳地区	7.2	7.4	6.7	4.9	5.0	4.4	1.5	1.5	1.5
	千倉地区	7.2	7.5	7.1	4.5	4.9	4.5	1.6	1.5	1.6
	暖地園研	7.3	7.7	8.4	4.8	5.1	5.3	1.5	1.5	1.6
	平 均	7.2	7.5	7.4	4.7	5.0	4.7	1.5	1.5	1.6
青島温州	三芳地区	7.7	7.4	6.9	5.1	5.1	4.5	1.5	1.5	1.5
	千倉地区	6.9	7.3	7.3	4.4	4.9	4.6	1.6	1.5	1.6
	暖地園研	7.9	7.6	8.0	5.4	5.1	5.1	1.5	1.5	1.6
	平 均	7.5	7.4	7.4	5.0	5.0	4.7	1.5	1.5	1.6

注1) 各地点の各品種の値は40果の平均値（千倉地区の青島温州は1果腐敗のため39果）

また、枝折れ、落果等により調査果実を変更

2) 果形指数は、横径/縦径

3 普通温州の果実品質

12月2日調査時の果実品質を表3に示した。

着色程度は「大津4号」が3地区平均で7.8であった。三芳地区及び千倉地区はほぼ平年及び前年並みで、暖地園研は平年及び前年より低かった。「青島温州」が3地区平均で6.8であった。三芳地区は平年及び前年よりやや低く、千倉地区は平年並みで前年より高かった。暖地園研は平年及び前年より低かった。調査樹1樹の着果量が特に少なく、着色が遅かった。

糖度は「大津4号」が3地区平均で10.0であった。三芳地区及び千倉地区は平年並みで、乾燥傾向であった前年より低かった。暖地園研は平年及び前年並みであった。「青島温州」では3地区平均で9.3であった。三芳地区は平年並みで前年より低く、千倉地区は平年及び前年よりやや低かった。暖地園研は平年並みで前年より低かった。

酸度は「大津4号」が3地区平均で0.85であった。三芳及び千倉地区は、平年並み、前年より低かった。暖地園研は平年及び前年より低かった。「青島温州」が3地区平均で0.89であった。三芳地区は平年より低く、前年よりやや低かった。千倉地区は平年及び前年より高かった。暖地園研は平年より低く、前年並みであった。

甘味比は「大津4号」が3地区平均で12.3であった。三芳地区は平年及び前年並みで、千倉地区は平年並み、前年より高かった。暖地園研は平年及び前年より高かった。「青島温州」では3地区平均で11.3であった。三芳地区は平年より高く、前年並みであった、千倉地区では平年及び前年より低かった。暖地園研は平年より高く、前年より低かった。

果肉歩合は3地区平均で「大津4号」が77.9、「青島温州」が78.2であった。両品種とも平年より高く、前年よりやや高かった。

表3 普通温州「大津4号」及び「青島温州」の果実品質（令和6年12月2日）

品 種	調査地	着色程度 (0~10)			糖 度 (° Brix)			酸 度 (g/100ml)			甘味比			果肉歩合 (%)		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
大津4号	三芳地区	7.8	8.2	8.3	9.9	10.1	10.9	0.86	0.88	0.94	12.0	11.8	12.0	77.6	75.9	75.6
	千倉地区	8.4	8.8	8.8	10.1	10.3	11.1	0.95	0.97	1.13	11.1	10.9	10.0	76.7	75.8	75.9
	暖地園研	7.2	8.3	9.1	10.1	10.2	10.6	0.73	0.91	0.86	13.9	11.5	12.7	79.3	76.1	78.2
	平 均	7.8	8.4	8.7	10.0	10.2	10.9	0.85	0.92	0.98	12.3	11.4	11.6	77.9	75.9	76.6
青島温州	三芳地区	7.0	7.6	7.7	9.4	9.3	10.4	0.79	0.93	0.84	12.4	10.2	12.8	80.8	74.7	78.0
	千倉地区	7.8	8.2	6.9	9.0	9.7	9.6	1.12	0.94	0.96	8.8	10.5	10.4	77.1	74.2	75.6
	暖地園研	5.6	7.9	8.8	9.4	9.7	10.2	0.74	0.89	0.73	12.8	11.1	14.3	76.7	75.5	76.5
	平 均	6.8	7.9	7.8	9.3	9.6	10.1	0.89	0.92	0.84	11.3	10.6	12.5	78.2	74.8	76.7

注) 平年値は平成6年～令和5年の30年間の平均値
甘味比＝糖度/酸度、果肉歩合＝(果肉重/1果重)×100

4 12月～3月の栽培管理

(1) 普通温州の収穫・予措

普通温州では果実の着色が8分程度の場合、貯蔵中にはほぼ完全着色するが、濃厚な橙色とはならず、初期の減量が完全着色果に比べ大きくなる。また、完全着色果に比べ糖含量が低いので、高品質の果実として出荷できない。そのため、まずは全体の約半数の果実（完全着色果のみ）を収穫する。さらにそこから10日後に、8分着色以上のものを収穫する。

収穫時についた傷や虫害による傷は、腐敗の原因となることが多いので、必ず手袋をはめ、先の丸い採果鋏を用いて収穫し、果実表面を確認する。採収容器は肩から掛ける袋か、かごを用いる。

収穫直後の果実は果皮の水分が多いので、コンテナに果実を7分目ほど入れ、風通しのいい日陰に10～15日置く予措を行うと、果実の重量が3%程度減少して果皮の活性が抑制され、貯蔵中における果汁成分の消耗が少なくなる効果がある。また、果皮がしなやかになり、選果や出荷時の傷果の発生予防になる。

(2) 病害虫の防除

青かび病等の予防には、収穫前にトップジンMゾル（2,000倍液）を散布する。

ミカンハダニ、カイガラムシの防除は2月下旬～3月上旬にマシン油乳剤（97%）60倍液を散布する。厳寒期を避け、晴天が続く暖かい日に実施する。また、樹勢の弱い樹や台風等の被害で著しく落葉した樹では、散布を控える。

※農薬の登録内容は変更になる場合があるため、農薬使用の際は最新情報を確認する。

(3) 防寒対策

気象情報に注意し、適切な防寒・低温対策をとる。樹体を強い寒風から守るため、防風垣や防風ネットを設置する。斜面下部など冷気のたまりやすい場所の防風垣は下枝を切り冷気を逃がす。

また、果実は寒害によるす上がりの発生等により、食味が低下するため、収穫適期を迎えた果実は寒さを受ける前に収穫する。

なお、表の数値は表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計は一致しない場合がある。

《 生育情報の発行元 》 千葉県農林水産部生産振興課

《 生育情報の問合せ先 》 千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室
電話 0470-22-2961

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>